

こうちょうせんせい

校長先生のおはなし（その１）

○この6月から、お友だちといっしょに、学校で勉強や運動ができるようになりました。

しかし、新型コロナウイルスの心配がなくなったわけではありません。

そこで、学校でみんなが安全に生活するための「3つのやくそく」をつくりました。

「自分」と「まわりの人」のために「3つのやくそく」を守って生活しましょう。

1つめ「2 m はなれる」

→ 2 mと書いていますが、人と人との間をしっかりとあけて行動することです。

人と人との間が近くなると、ウイルスがうつるキケンが大きくなってきます。

みんなで、人と人との間に気をつけながら、生活するようにしましょう。

2つめ「マスクをつける」

→ マスクをつけることを、せきエチケットといいます。

ひとりひとりがマスクをつけることで、ウイルスがうつるキケンを減らすこと

ができます。学校はたくさんの人が過ごす場所ですので、みんなのためにも、

マスクをつけて生活するようにしましょう。

3つめ「手をあらう」

→ 手をあらうことで、自分の安全と健康を守ることができます。

人はいろいろなモノをさわって生活を過ごすので、ウイルスが手につくキケン

はとても大きいといわれています。しかし、ウイルスが手についても、手をし

っかりとあらう生活ができていれば、自分の体にウイルスは入りません。

手あらいは「自分の命を自分で守る」行動です。しっかり取り組みましょう。